

# 大町少年少女発明クラブ

## 令和5年度活動の記録



### クラブ員（計16人）

大町東小1人 大町西小1人 大町南小5人 大町北小2人  
松川小 1人 穂高南小1人 穂高北小2人  
大町中 2人 松川中 1人

期 間 6月18日（日）～ 2月11日（日）

計22回

### 経 過

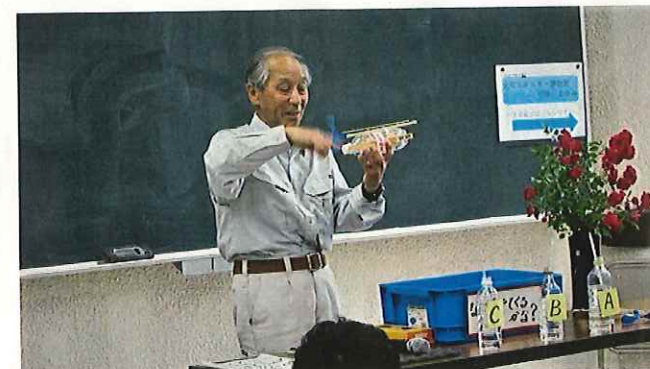
		P.
・開講式	6/18	1
・土器製作（全3回）	6/25, 7/2, 7/23	3
・木工「万年カレンダー」	7/9	5
・プロペラで遊ぼう（全4回）	7/16, 8/27, 9/3, 9/10	6
・模型飛行機製作（全4回）	9/17, 9/24, 10/1, 10/8	12
・缶ストーブ製作（全2回）	10/15, 10/29	16
・模型飛行機競技会	10/22	19
・ロボカップ Jr. 大町（長野高専）（全3回）	11/4, 11/5, 11/12	25
・電子工作（長野高専）	11/19	29
・修了式	11/26	30
・二次燃焼型缶ストーブ携行雪中ハイク	'24/2/11	32

# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

## 大町少年少女発明クラブ【令和5年度開講式】

06 18, 2023



令和5年度大町少年少女発明クラブ開講式を行いました。  
今年度のクラブ員は16名。半年間、楽しく学びながら一緒にがんばっていきましょう！

「作る楽しみ、工夫する楽しみを味わって」と呼び掛けた



## 小中学生 科学技術親しむ

### 大町 エネ博「発明クラブ」開講式

大町市平の大町エネルギー博物館(上原達宏館長)が主催する令和5年度の「大町少年少女発明クラブ」がスタートし、18日に同館で開講式が開かれた。継続生と新たな仲間を加えた小中学生のクラブ員17人が、仲間たちと交流を深めながら、学校では学べないものづくりや科学技術に親しむ。

少年少女発明クラブは、ソニー創業者の井深大氏が次代を担う青少年にもものづくりに親しむ環境を整え、ものづくりに携わる人材を育成しようとして1974年に誕生した。日本では現在、200余のクラブがある。

大町のクラブはエネルギー博物館が開館した1982年に発足。基礎工作や模型飛行機などでもものづくりの楽しさを伝えている。上原館長は「仲間と楽しみながら一緒に頑張るでしょう」とあいさつ。その後、指導員の紹介や自己紹介、昨年の先輩たちのものづくりの成果報告が行われた。

初めて参加する高橋結衣さん(大町中2年)は「土器製作が楽しそう。頑張りたい」、村上稜空君(松川小5年)は「電子工作の大会で昨年以上にいい成績が出せるよう工夫して作ってみたい」と話していた。

本年度は11月までの活動で、上原遺跡見学を基に土器製作、模型飛行機の製作やプログラミングなどに取り組み。2月は特別プログラムとして雪中ハイクを予定している。



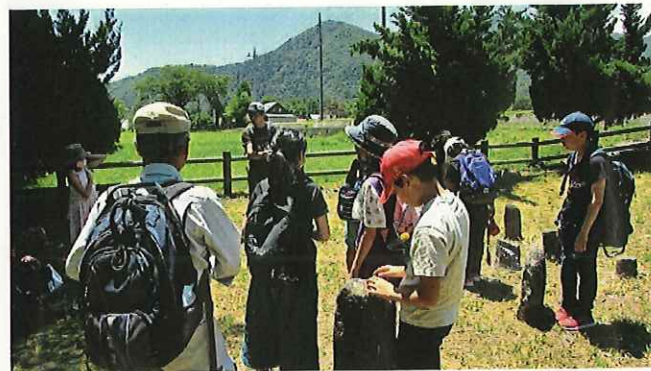
発行所  
 ©大糸タイムス社  
 長野県大町市横町1851  
 〒398-0002  
 TEL0261(22)2110  
 FAX0261(22)2111  
 ホームページ  
<http://www.ohitotimes.co.jp/>  
 Eメール(記事)  
[hodo1@ohitotimes.co.jp](mailto:hodo1@ohitotimes.co.jp)  
 Eメール(広告)  
[koukoku@ohitotimes.co.jp](mailto:koukoku@ohitotimes.co.jp)  
 購読料1カ月2,000円(税込)  
 1部100円  
 本紙購読申込所  
 羽田(大町西部) ☎0261-22-1450  
 羽田(大町東部) ☎0261-22-0553  
 羽田(常盤) ☎0261-22-1450  
 読売大町 ☎0261-22-4784  
 矢崎(池田) ☎0261-62-2533  
 読売安曇野(池田) ☎0261-62-2252  
 山本(白馬) ☎0261-72-2024  
 山本(小谷)  
 藤沢(八坂) ☎0263-87-2354  
 穂高信毎 ☎0263-83-7878  
 滝沢(豊科) ☎0263-73-3000  
 鳥羽(明科) ☎0263-62-2312

# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

## 第2回発明クラブ【土器製作Ⅰ「上原遺跡見学」】

06 25, 2023



本年度の発明クラブ、本格始動。  
初回は上原遺跡（わっぱら遺跡）見学。今から約5000年前の縄文時代の遺跡です。  
大町市文化財センターの関学芸員にも参加いただき、縄文時代の貴重なお話を伺いました。  
参加したクラブ員のみんなは楽しく学ぶことができたかな？

# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

## 第3回発明クラブ【土器製作Ⅱ「粘土工作」】

07 02, 2023



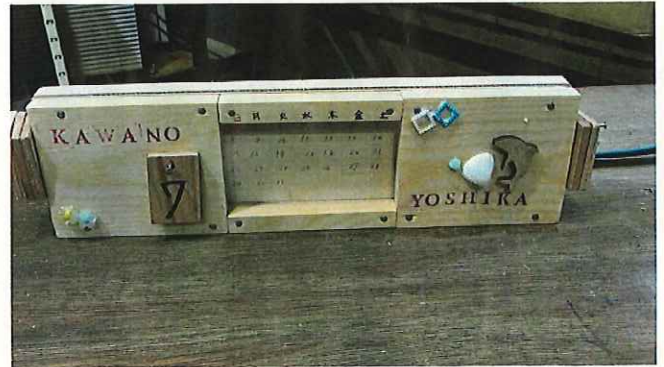
第2回発明クラブは「土器製作」。前回は縄文時代の遺跡「上原遺跡」を見学しました。今日は当時の生活を周りの山や川から考え、それぞれ自分で考えて土器を作りました。これから土器の完成までには乾燥、焼成と工程はまだあります。

# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

## 第4回発明クラブ【木工】

07 09, 2023



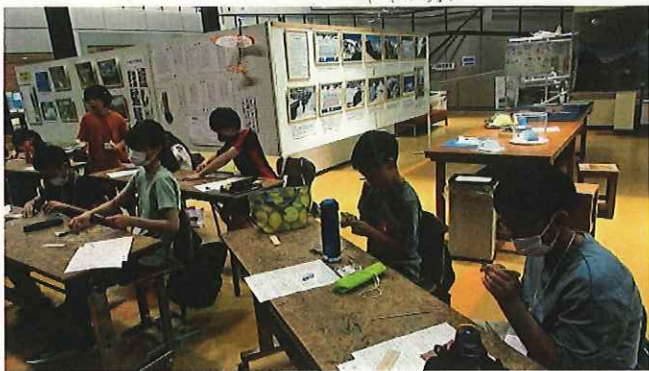
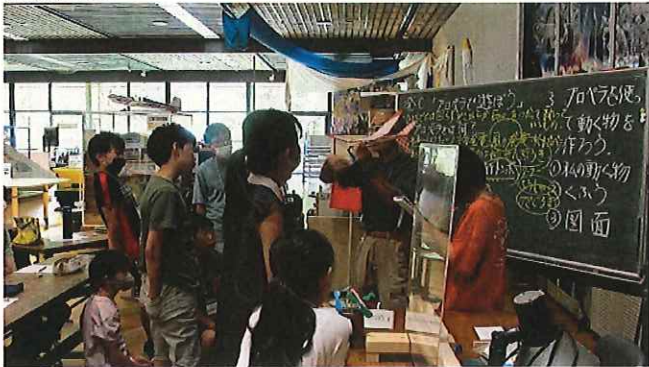
発明クラブ3回目の活動は「木工」工作。  
勝野さんをお招きして、「万年カレンダー」を製作しました。  
これホントに使えるの？なんて疑問も、作ってみたら使い心地にびっくり！  
みんな、個性に溢れた世界に一つだけのカレンダーができました。

# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

## 第5回発明クラブ【プロペラで遊ぼうⅠ「竹とんぼ工作」】

07 16, 2023



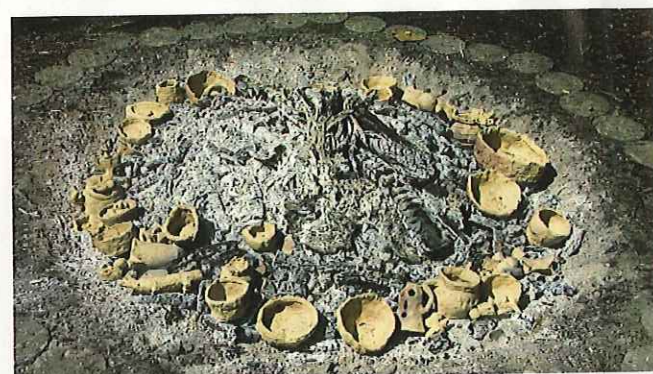
発明クラブ、今回の活動は「竹とんぼ工作」。  
プロペラの仕組みを遊び、実際に作ってみなから学んでみました。  
中々難しい工作ですが、飛ばす形まで作ることができました。  
てのひらの中で軸を転がすエネルギーを十分にプロペラに伝えれば、高く飛んでいく…はず。  
それでも飛ばなければ、あとは練習あるのみです！

# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

## 第6回発明クラブ【土器製作Ⅲ「野焼き」】

07 23, 2023



本日、第3回発明クラブ（7月2日）で製作した土器を、「野焼き」で完成させました。事前に安全管理など、準備万端で臨んだ今日の発明クラブ、暑い中でも灼熱の炎に負けじと活動を積極的に行いました。出来上がりは様々でしたが、みなさん貴重な体験となったことと思います。

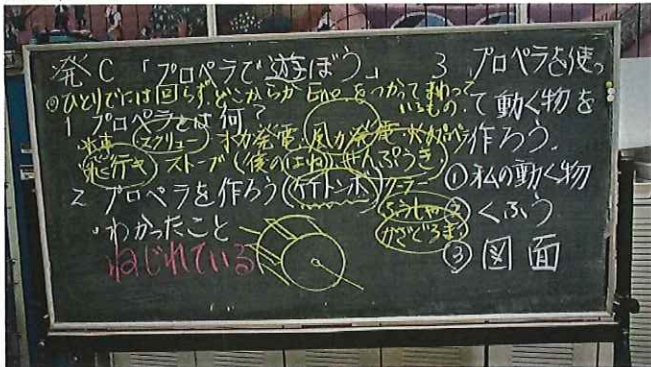


# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

## 第7回発明クラブ【プロペラで遊ぼうⅡ】

08 27, 2023



夏休みも明けて、大町少年少女発明クラブ再始動！  
今回からはプロペラの力を使って、なにか自分なりの物作りができないか挑戦します。  
夏休みにアイデアが浮かんだ人、まだまだ構想をねっている人、さっそく工作を始める人と様々ですが、みなさん活動中に完成までもっていきるといいですね。

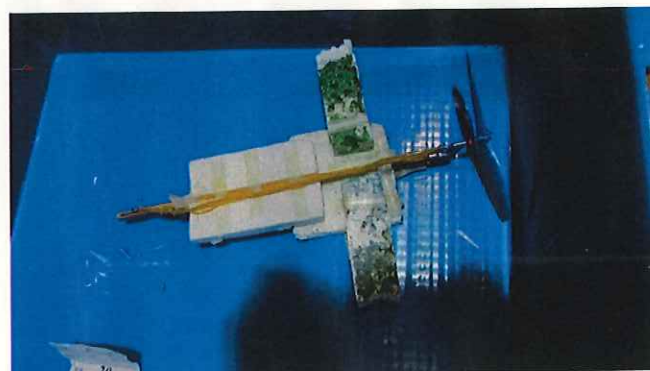
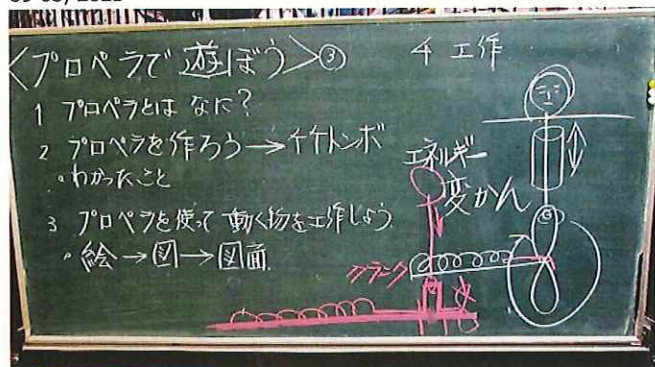
また、以前の活動で作成した竹トンボの色塗りと土器の修復もおこないました。  
土器は可能な限り完全修復を心掛けたのですが、どうしても正体不明や行方不明の  
パーツが発生。どなたか、発明クラブ員の土器の欠片に心当たりはありますか？

# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

## 第8回発明クラブ【プロペラで遊ぼうⅢ】

09 03, 2023



今日の発明クラブは前回の続き。  
プロペラを使ってオリジナルの工作を行っていきます。  
風や水のかで走る舟、ロケット型、上下運動の「クランク型」など、みなさん個性が爆発していました。  
日程の都合上、どうしても長時間の工作はできませんが、完成まで頑張ってください！

# プロペラ作り飛ぶ原理知る

## 大町「発明クラブ」が基礎工作

大町市の大町エネルギー博物館(上原達宏館長)で活動する、大町少年少女発明クラブは3日、基礎工作「プロペラで遊ぼう」を実施した。プロペラの仕組みを知り、遊びの中から飛ぶ原理を学んだ。



風船を使ってプロペラが浮いた!

7月からシリーズで行っている3回目の活動。子どもたちは自分なりの竹とんぼの製作から始め、扇風機や風車などの羽根がねじれ

ており、このねじれが飛ばす力を生み出すことを知った。このことを踏まえ、「プロペラを使って動くものを作ろう」という課題が与えられた。

同館指導員の山下邦彦さんのアドバイスを受けながら、それぞれに自分の考えを絵や図面に描き起こし、オリジナルの作品作りに挑戦した。「1個の竹と

んぼが軸を長くして飛ばなければ、羽根をどう付ければどうか」というアイデアを出したクラブ員に、山下さんは「それは『シャイロコプター』という発明で、こういうヘリコプターがある。自分でそこにたどり着いたことはすごい」と評価した。

「風船を幾つも使ってプロペラにセットすると上手く浮くのでは」というアイデアもあった。考案した松川中学校2年生の河野吉花さんは「思ったより



2つのプロペラで飛ばしてみたら

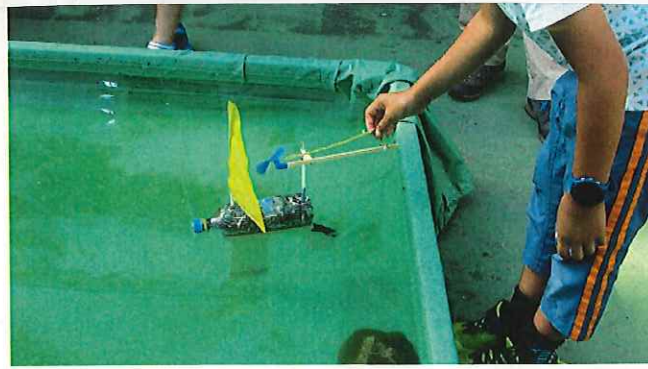
難しかったけれど、浮いて良かった。大成していた。功と、笑顔で話して

# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

## 第9回発明クラブ【プロペラで遊ぼうⅣ】

09 11, 2023



発明クラブはプロペラ工作4日目。プロペラのカを使って作動する仕掛けを今回で仕上げ、みんなの前で発表してもらいました。うまく作動した人、なかなかうまくいかなかった人とありましたが、これも成果の一つです。

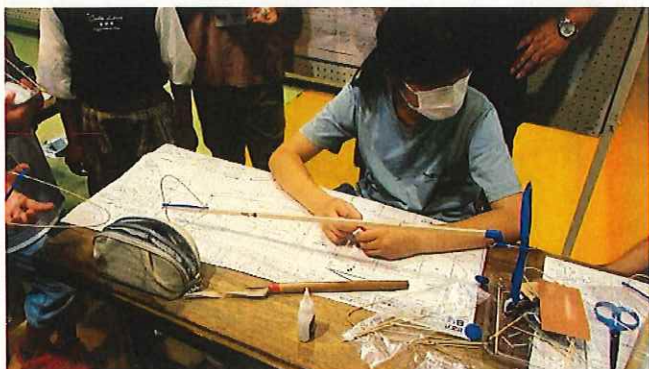
次回はプロペラを使って空を飛ぶ、飛行機作りです。今回までの活動で使ったプロペラが飛行機を飛ばす力になる、プロペラのカもその難しさも知るみなさんは実際に飛行機が飛ぶのか半信半疑かもしれませんが、丁寧にそして慎重に製作すれば飛行機はちゃんと期待に応えてくれる…はず。

# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

## 第10回発明クラブ【模型飛行機の製作I】

09 17, 2023



プロペラによる自由工作を終え、本日より発明クラブは飛行機作りに入りました。  
この後の活動に控える、発明クラブの「模型飛行機大会」に挑戦するための機体です。

飛行機はなぜ飛ぶのか？当然、魔法で飛んでいるわけではないので、理屈はあります。  
しかし考えれば考えるほど、奥が深い飛行機の世界。クラブ員のみなさんには飛行機作り  
を通して、飛行機、そして科学の奥深さの一端を味わっていただければと思います。

# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

## 第11回発明クラブ【模型飛行機の製作Ⅱ】

09 24, 2023



気づけば開催回数が2桁に突入していた発明クラブも模型飛行機作り。今回は飛行機の揚力を生み出す要、「主翼」の製作に取り掛かりました。

細かな部品の取り付けや翼の角度の調整などの作業に悪戦苦闘しながらも、みなさん主翼を形にすることができました。これがあるから必ず飛ぶというわけではありませんが、みなさんの機体が空を舞う第一歩を踏み出したのではないのでしょうか。

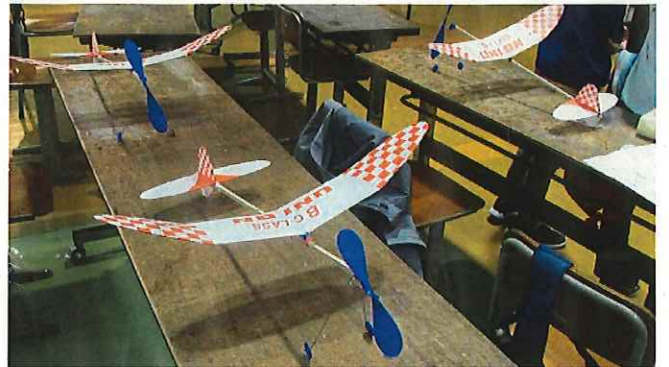
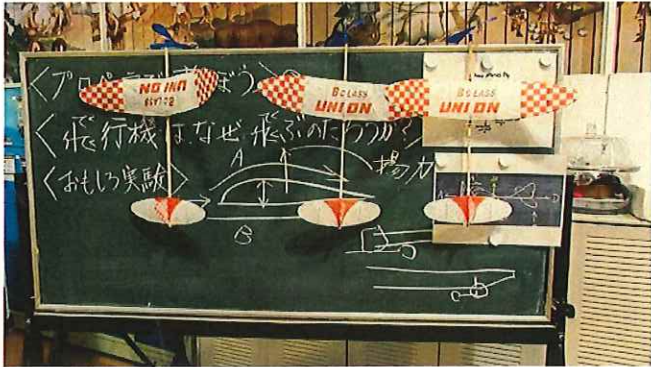
飛行機大会の日も徐々に迫ってきています。クラブ員のみなさんの機体がどれほどの結果を残すのかは今回までの、そして次回からの活動の内容が決定します。人が太古の頃より夢想し続け、しかし20世紀になるまで実現できなかった「空中飛行」。その高い壁を、クラブ員のみなさんは突破することはできるでしょうか。

# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

## 第12回発明クラブ【模型飛行機の製作Ⅲ】

10 01, 2023



本日の発明クラブも模型飛行機作り。主翼も骨組みも終わり、いよいよ紙貼りに入りました。製作まで全3回の活動を行いました。今回いよいよ機体が完成しました。とはいえ、完成したばかりなので、まだ飛ばすことはできません。試験飛行は次回になります。果たしてうまく飛ぶのか？ それは今回完成した機体のでき次第。重力と揚力、空気抵抗と推進力、前後左右のバランスと重心。これらが絶妙にかみあえば、「空中飛行」を叶えてくれるはず。

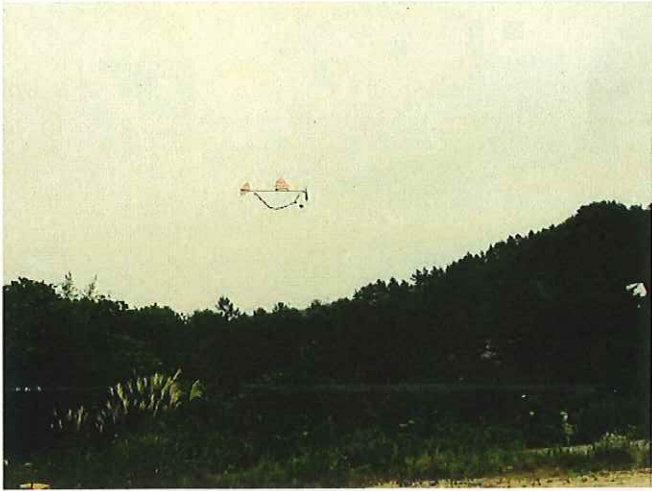
加えて、水の面白い実験を披露。水を満たしたホースの片側を水の入った円筒状の容器に入れ、もう片方を取水口となったホースの端より低く置くと、容器の中の水がホースを通して溢れてきます。ひょっとしたら漫画でみたことある人もいるかもしれませんが、これも科学の不思議の一つです。

# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

## 第13回発明クラブ【模型飛行機の製作IV「模型飛行～最終調整」】

10 08, 2023



本日の発明クラブは「模型飛行機の製作IV」。試験飛行及び最終調整を行いました。実際に飛ばしてみると、少しのバランスの狂いで飛行が不安定になるなど、わかっていくことがたくさんあります。更には各飛行機で飛行の「クセ」もあり、一筋縄ではいきません。みなさん細かい調整を重ねていました。わたしは業務もありましたので度々その場を離れてしまいましたが、試験飛行場に戻るたびに滞空時間が長くなっていました。機体のバランスや飛ばし方のコツをつかんだのでしょうか。この調子で来週に迫った本大会でもみなさんの機体がよい飛行をすることを期待しています。



# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

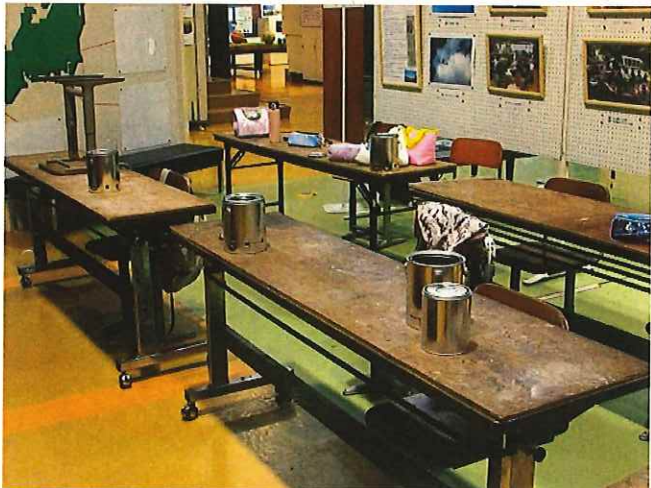
## 第14回発明クラブ【缶ストーブⅠ】

10 15, 2023



本日の発明クラブは天候不良のために“模型飛行機大会”を変更して、“缶ストーブ製作Ⅰ”を行いました。2月に予定している【雪中ハイク】で使います。

ドリルや金切りバサミを用いて、ストーブの原型を作りました。完成まではあと一歩です。次回の活動は天候が良ければ、今度こそ“模型飛行機大会”。集合時間に注意してください。その次は“缶ストーブ製作Ⅱ”。みなさん忘れちゃいけないもの、覚えてますよね？



# 災害に強い缶ストーブ製作

## 大町 青少年発明クラブが挑戦

大町市平の大町エネ  
ルギー博物館(上原達  
宏館長)で活動する、  
大町青少年発明クラ  
ブは15日、基礎工作  
「缶ストーブ製作」活  
動を実施した。万が一  
の災害時にも心強い存  
在となる缶ストーブで

ものづくりの楽しさに  
ふれた。  
缶ストーブは落ち葉  
や木の枝など身近にあ  
るものを燃料として火  
をおこす道具。同館の  
山下邦彦指導員は「コ  
ンパクトで直火でのた  
き火が禁止されている

場所でも、環境を破壊  
することがなく優れた  
燃焼能力がある」と任  
組みや使い方について  
説明した。

同館では毎年、大小  
のペンキ缶を使って煮  
炊きができるように加  
工している。参加者は  
アドバイスを受けなが  
ら、缶に穴を開けるた  
めの専用の機器も使用  
しながら製作に取り組  
んだ。

完成した缶ストーブ

は月末に好きな食  
材を使って煮炊きか  
できるか試運転を行  
う。来年2月には恒例  
の「雪中ハイク」で自  
作した缶ストーブを持  
参し、白銀の中で自然  
体験活動が行われる予  
定になっている。

自作の缶ストーブ作り  
に挑戦



# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

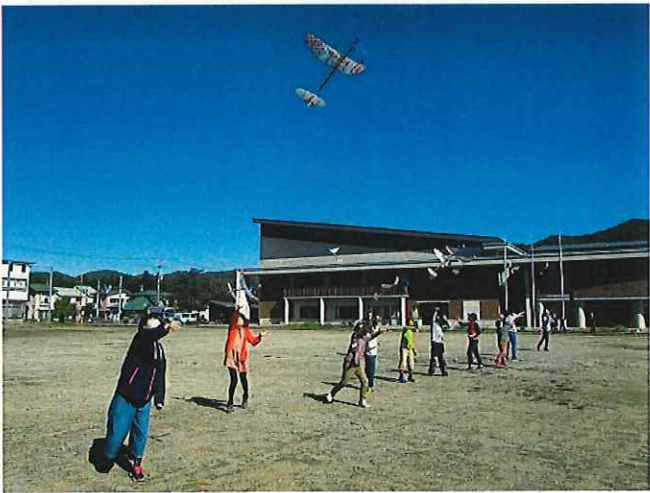
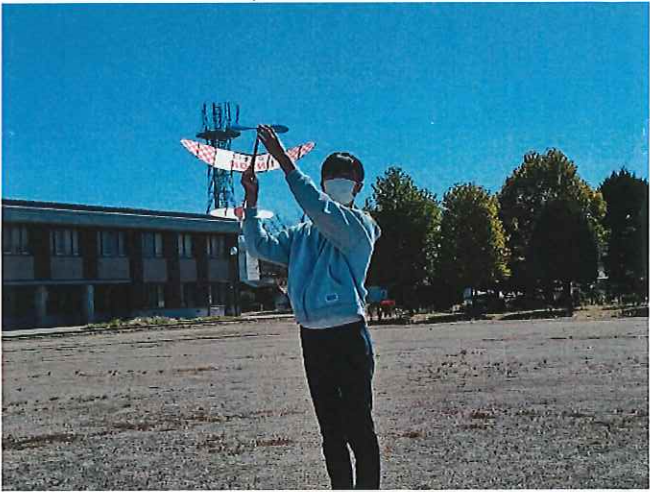
## 第15回少年少女発明クラブ【模型飛行機大会】

10 22, 2023



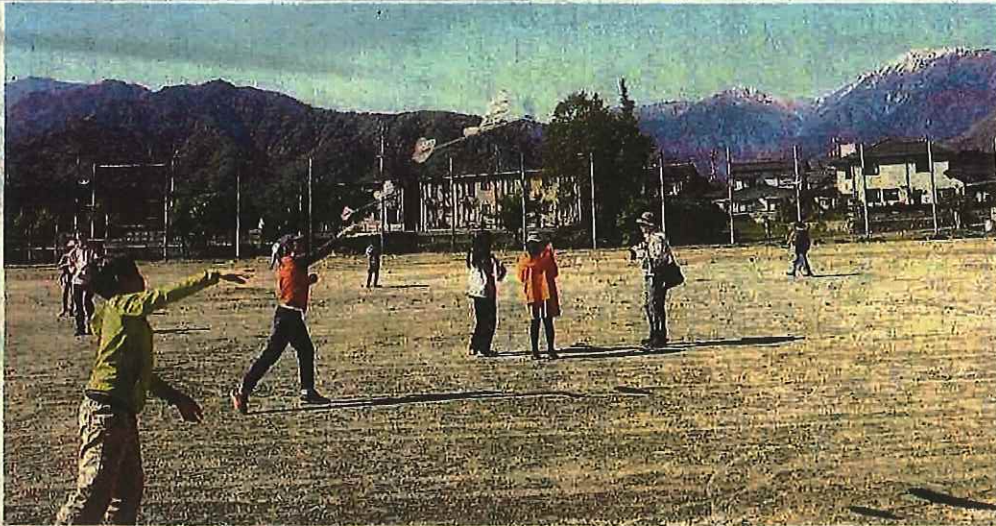
本日の発明クラブは【模型飛行機大会】本番。  
今日は快晴で山の雪化粧と紅葉が鮮やかに映えました。  
(写真ではわかりにくいのですが…)

飛行記録や飛び方など個性が現れましたが、これまでの活動でみなさん熱心に製作したので、雲一つない青空の下(本当は雲がちょっとある)、見事に飛んでいました。



# 模型飛行機 滞空時間競う

## 大町エネ博 少年少女発明クラブが大会



大町市平の大町エネ博(上原達宏館長)で活動する、大町少年少女発明クラブは22日、旧大町第一中学校の校庭で第9回模型飛行機大会を開いた。クラブ員やOBら約20人が参加し、手作りの模型飛行機の滞空時間を競い合った。

模型飛行機は、基礎工作活動でプロペラの仕組みを学びながら自作した。風向きや飛び立つ角度など、スタンプから細かなアドバイスを受けながら、主翼の位置を調整して大会に備えた。

当日は抜けるような大空に向かって模型飛行機を飛ばす参加者

秋空に三段紅葉が映える山並みがくっきりと見える、絶好のフアライト日和。子どもたちはプロペラを回すゴムを巻き、自作の愛機

を青空に向けて次々に放った。風に乗って悠々と舞う姿に歓声を上げていた。大町中学1年生の中村一葉さんは「飛んだり飛ばな

かったりだけれど、思いきの飛ばせて気持ち良かった」と話した。3回のフライトで滞空時間を測り、良かった順にメダルが授与さ

れた。上位入賞者は次の皆さん(敬称略)。  
 ①今溝弘都、②高橋結衣、③坂井彩那、④村上稜空、⑤高橋峻、⑥清水蒼良

# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

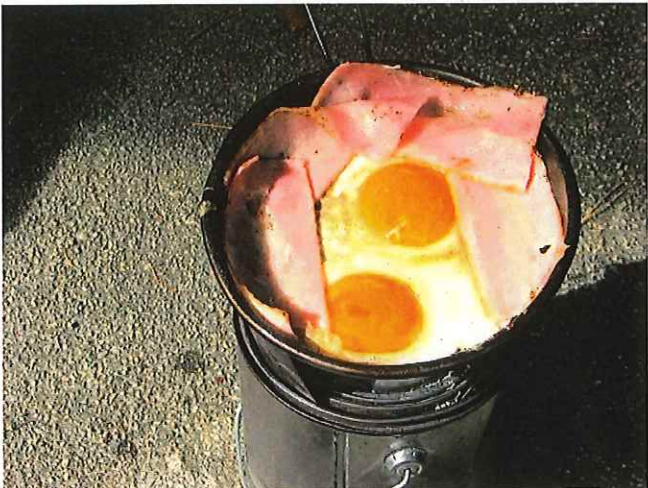
## 第16回発明クラブ【缶ストーブⅡ】

10 29, 2023



本日の発明クラブは缶ストーブ製作の続き。「五徳」を付けて完成しました。  
活動の前に前回の飛行機大会の表彰式を行いました。  
午前中は缶ストーブを完成させ、お昼前には燃料にするために、エネ博庭に落ちている枝を集めました。着火剤にはシラカンバの樹皮や新聞紙を使用。

お昼には缶ストーブで炊いた火で昼食を調理。即席麺やマッシュマロなど、みなさん思い思いのご飯を作っていました。2月の【雪中ハイク】は文字通り、雪の中での食事になります。今回実際に調理してみて、当日挑戦してみたい昼食への想いが膨らんでいきますね。





# 大町エネ博 少年少女発明クラブ試運転



缶ストーブの燃焼はどうか

## 自作缶ストーブで屋外調理

大町市平の大町エネ博を行った。自分たちでルギー博物館(上原達宏館長)で活動する、大町少年少女発明クラブは10月29日、自作した缶ストーブの試運転を行った。自分たちで好きな食材を持ち寄り、屋外調理を楽しみながら缶ストーブの性能を確かめた。缶ストーブは落ち葉や木の枝など身近にあるものを燃料として火をおこす道具。同館では毎年、大小のペンキ缶を使ってクラブ員が自分の缶ストーブを製

作している。屋外で行われた試運転でクラブ員は、思い思いの場所に缶ストーブを設置し、着火剤の小枝などを投入して火を起した。火の勢いが落ちてくると、フライパンや網を置き、食材を乗せて調理を体験。ベーコン、エッグやハムステーキ、ジャガバター、ピザといった豪華な料理が完成した。子どもたちは多様に活用できる缶ストーブの使い心地に感動しながらおいしく味わっていた。

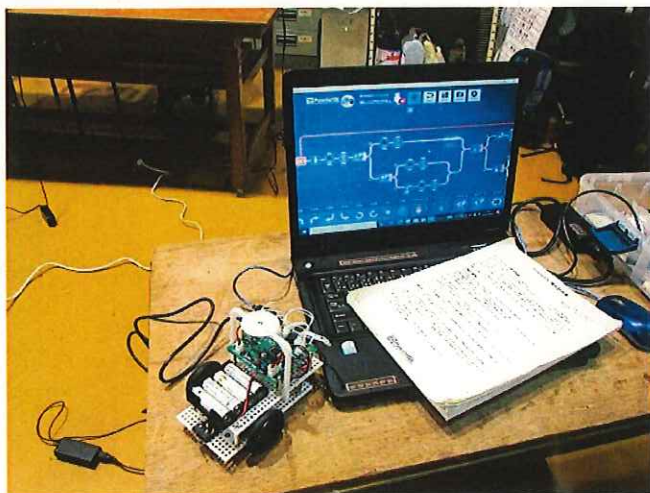
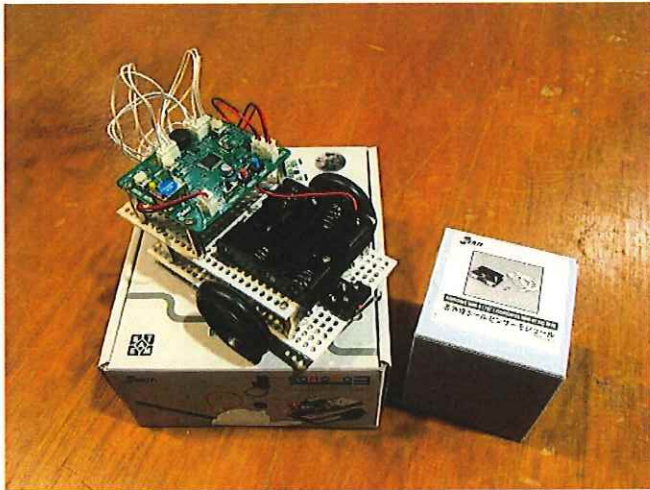
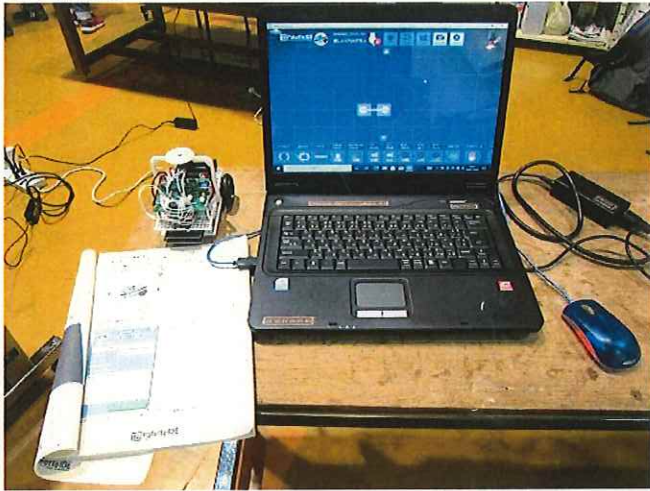
同館では来年の2月に恒例の「雪中ハイク」を予定。自作した缶ストーブを持参し、白銀の中で自然体験活動が行われる。

# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

## 第17回発明クラブ【ロボカップJr. 大町 I】

11 04, 2023



本日の発明クラブは長野工業高等専門学校の宮下先生にご教授いただき、初参加組は機体製作から、既に機体を所持する参加者はプログラミングから始めました。

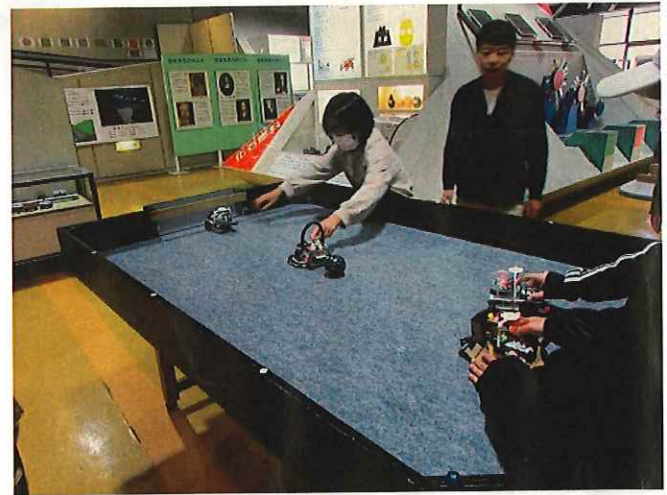
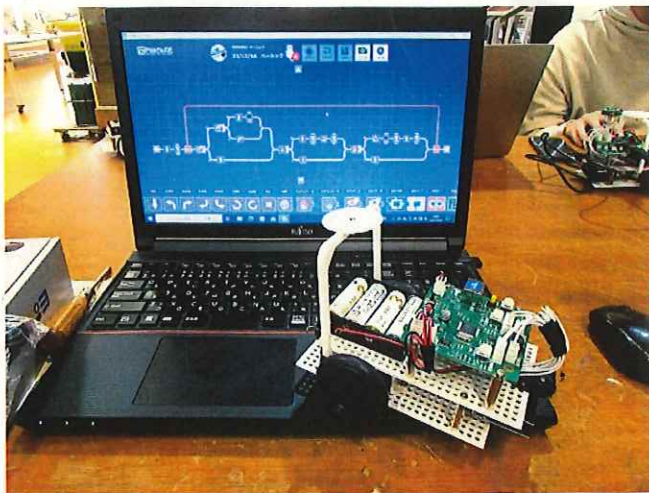
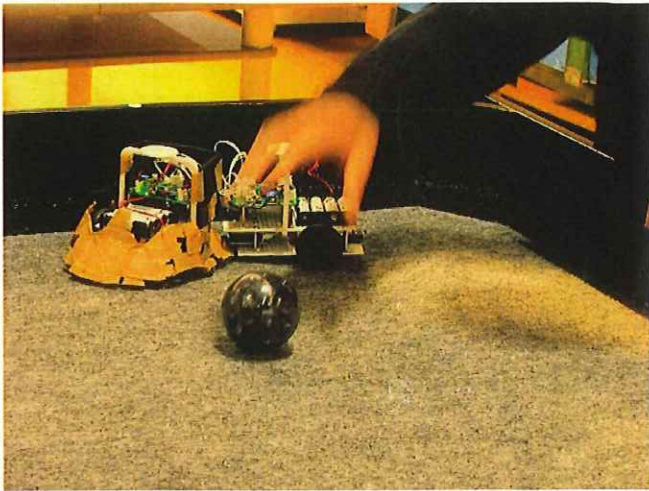
今日はいつもと違い土曜日の発明クラブでしたが、明日もあることをお忘れなく！

# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

## 第18回発明クラブ【ロボカップJr. 大町Ⅱ】

11 05, 2023



昨日に続き、宮下先生に指導いただき製作した【ロボカップ】用の機体。  
午前中にプログラミングを組み、午後にはチーム毎に分かれて練習試合を行いました。

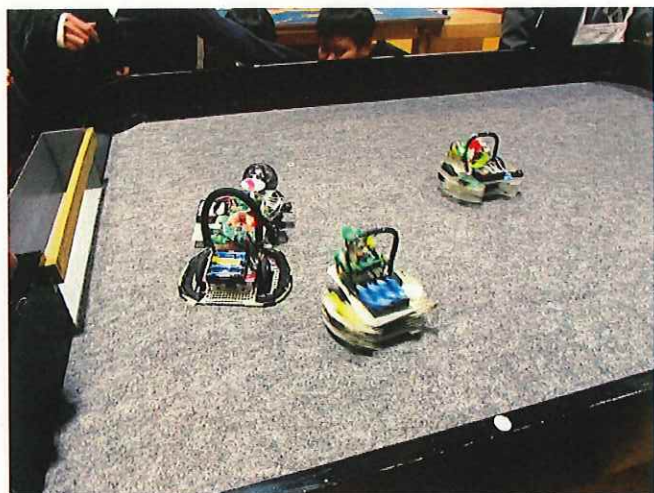
細かなルールも多い中、初めての人も経験者でも、機体はしっかりとボールを追跡し、  
サッカーと呼んで問題ない試合になっていたのではないのでしょうか。  
いよいよ始まる大会は来週の日曜日。「絶対に負けれない戦いがそこにはある」

# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

## 第19回発明クラブ【ロボカップJr. 大町大会】

11 12, 2023



本日の発明クラブは【ロボカップJr.大町】大会！  
参加した3チームがしのぎを削りました。

長野工業高等専門学校の召田先生に教えて戴いた他、同学校の生徒さんたち、  
発明クラブOBの皆さんにもお手伝いいただきました。本当にありがとうございます。

激戦の末に、今満さんと金原さんが東海地区大会出場の権利を獲得しました。

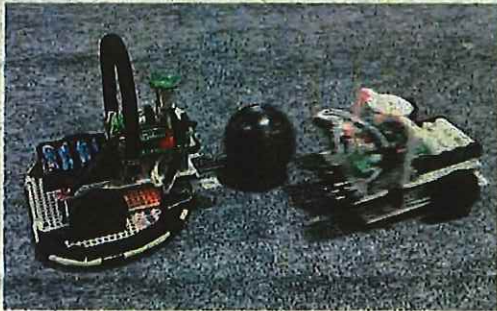
営業は午前9時～午後6時(土曜日は午前10時～午後3時)、日  
曜・祝日休み。問い合わせは(きわい)02-61-552000まで。

## ロボカップ子どもが熱戦

ジュニア2023大町大会

### エネ博発明クラブ3チーム出場

大町市平の大町エネ開いた。センサーとラ  
ルギー博物館(上原達 ロケタミングに従って  
宏館長)で活動する、 動く、自立型サッカー  
大町少年少女発明クラ ロボットによるサッ  
プは19日、同館で「ロ カーゲームで熱戦を繰  
ロボカップジュニア20 り広げた。  
23大町地区大会」を 次世代の科学技術の



担い手育成を目的に全国各地で開催。大町大会は平成14年から始まり22回を数える。平成16年から長野高専機械ロボティクス系の協力で開発のロボットでサッカーゲーム対戦



熱戦を繰り広げる子どもたち

独自の科学技術の担い手育成を目的に全国各地で開催。大町大会は平成14年から始まり22回を数える。平成16年から長野高専機械ロボティクス系の協力で開発のロボットでサッカーゲーム対戦

催している。本年度はクラブ員6人が参加を希望。高専の学生からロボット製作、プログラミング、動作確認の指導やアドバイスを受け、3チームが大会に臨んだ。

ボールが出す赤外線センサーを感知する赤外線センサーや、壁など障害物を感知するタッチセンサーでロボットがあらかじめプログラムした動作を行い、ボールを相手側ゴールに入れることで得点するルール。試合開始後はロボットに手を触れることはできない。

参加者は試合ごとにロボットとプログラミングを細かく調整しながら対戦に臨み、自分たちで考えたことが形になっていく科学技術の魅力を存分に体感していた。

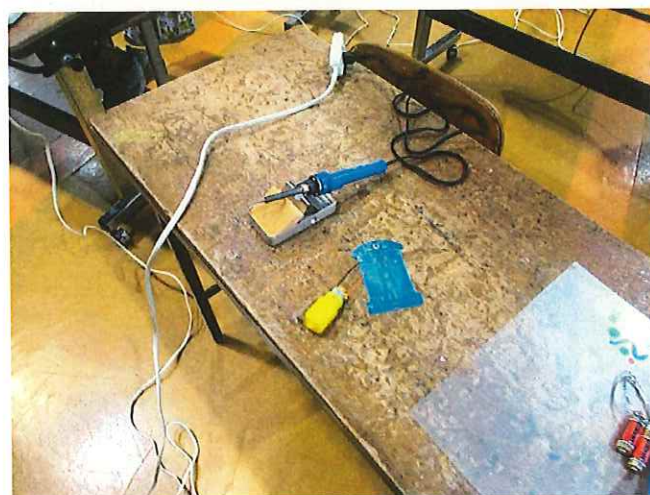
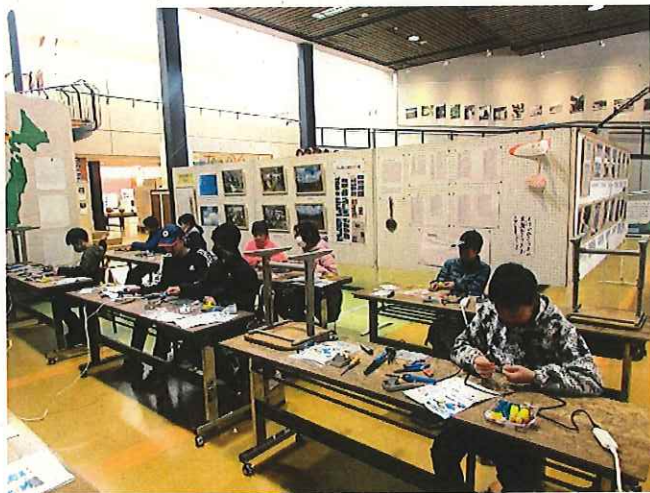
熱戦の結果、今回初参加した大町南小6年生・今溝弘都君、大町西小学校5年生・金原穂君のチームが優勝した。

# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

## 第20回発明クラブ【長野高专出前授業】

11 20, 2023



令和5年11月19日の発明クラブは、実質的に本年最後のクラブ活動になりました。今年も長野工業高等専門学校の渡辺先生に教えて頂き、皆で「ライトレースカー」を作りました。去年作ったラジオより難しいという人も居ましたが、何とか無事に完成させることができました。渡辺先生にはお忙しい中にも関わらず丁寧に教えてくださり、本当にありがとうございました。

# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

## 第21回発明クラブ【令和5年度修了式】

11 26, 2023



今日は大町少年少女発明クラブ修了式。クラブ員16名全員と保護者、当クラブ会長の中村大町市教育長、縄文土器作りで協力いただいた向井講師に出席いただき、今年度の活動を振り返りながら各自感想を發表しました。最後に中村会長より、全員に修了証が手渡されました。これからも発明クラブでの経験を活かし、おおいに活躍されることを期待します。

# 山下邦彦さん協会感謝状

## 大町 発明クラブ 科学への関心指導で貢献

長年にわたり、少年少女発明クラブにおける指導活動を通じ、創造性豊かな青少年育成に貢献したとして、大町市の大町少年少女発明クラブ専門指導員・山下邦彦さん(76)にこのほど、公益財団法人発明協会から感謝状

が贈られた。本年度受賞者は全国で86人で、県内では山下さんを含む2人。5日に市役所で伝達式が行われた。同市では大町エネルギイ博物館開館の昭和57年からクラブが発足。多彩な基礎工作や自由工作などの活動を

展開してきた。山下さんは長年の教職生活を経て市教育委員会の生涯学習支援分野で5年間の業務を経験したのち、平成25年から令和3年までエネルギイ博物館の館長を務めた。館長となってからは、地域素材の活動を通して



表彰を受けた大町少年少女発明クラブ専門指導員の山下邦彦さん

ものづくりの基本を学ぶ「こと」に重点を置いた活動を実施。自身の豊かな社会経験に基づき、雪国の特色を生かした「雪中ハイク」、

地域の貴重な縄文遺跡にふれながらの土器製作、北アルプスの風を感じながらの模型飛行機大会といった、机上では学べない野外体験学習を数多く提案した。いずれも好評で定

番化され、子どもたちの科学への関心を高めている。表彰を受けて山下さんは「大町は自然豊かで、ここに住む子どもたちですができない経験がたくさんできる。

そんな恵まれた環境に暮らしていることを知ってもらい、さらに自然科学に親しんでもらえたらと思う。今後自然体で子どもたちを関わっていきたい」と話していた。



# 大町エネルギー博物館

長野県大町市にある大町エネルギー博物館のブログです。

## 第22回発明クラブ 【雪中ハイク】

02 13, 2024



2月11日、「雪中ハイク」を実施しました。  
本年度最後となる、発明クラブの活動です。

開会式で燃料や「かんじき」を配り、確認事項を共有した上で、大町ダムの  
広場に向けて出発しました。天候にも恵まれ、絶好の雪中ハイク日和でした。



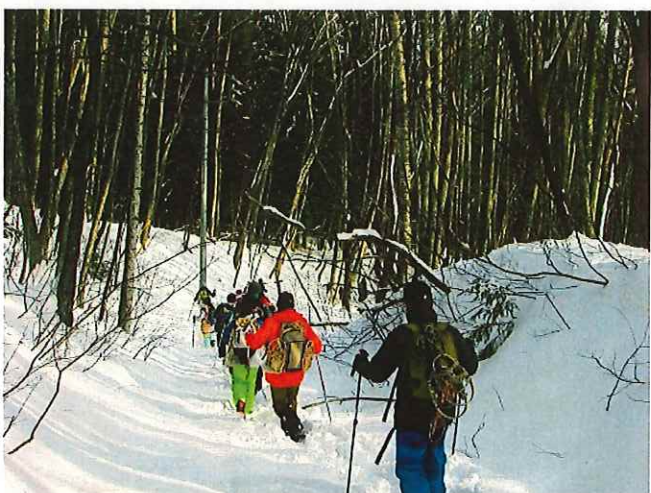
- Q. ↑の写真はなんでしょう？
- ①山の神に祈りを捧げている写真
  - ②面白実験を行っている写真
  - ③頭を冷やしている写真
  - ④「SAN値ピンチ」の決定的瞬間





目的地の小太郎広場に到着。  
 発明クラブの活動内で製作した「携帯式缶ストーブ」を使って、皆さん思いの料理を作っていました。  
 それにしても揃いも揃って、なぜマシュマロを焼きたがるのか…？





10:00に出発し、14:50に戻ってきました。予定よりも20分の遅れは、次回の反省点です。  
ともあれ、本年度の発明クラブはこれにて完了！ 皆さんお疲れ様でした。  
また次年度もよければ、よろしくお願いします。

Q. の答え ⑥

- ①大町市には仁科神明宮など多くの神社があります。お祈りはそちらで。
- ②雷の特性を活かした面白い実験です。気になる方は真似してみてください。
- ③悪いのなら顔を鼻に突っ込む前に、まず帽子を脱ぎなさいよ。
- ④当館近辺で H. P. ラウクラフトの「宇宙的恐怖」は確認されていません。ご安心ください (?)

新雪を踏みしめて歩く参加者



# 冬の山林 雪道散策楽しむ

## 大町エネ博 発明クラブが雪中ハイク

大町市の大町エネルギー博物館(上原産宏館長)で活動する、大町少年少女発明クラブは11日、恒例のイベント「雪中ハイク」を実施した。クラブ員やOB、保護者ら約20人が参加。博物館から高瀬川沿いの山林、大町ダムまでの雪道を散策。ダムでは昨年の活動で自作した携帯缶ストーブで昼食を作り、大自然の中のランチタイムを楽しんだりして冬の大町を満喫した。

今年も好天にも恵まれ、絶好の雪中散策日和となった。積雪は例年より少なめで、歩くのも快適。道中ではカモシカなど野生動物の足跡を観察したり、大町ダム直下の小太郎つり橋から見る周囲の雪景色を楽しみながら歩いた。高瀬川のせせらぎの音が間近に聞こえる場所では、上原館長が「耳を澄ませて、それから雪をダイブして音を聞いてみて」と子どもたちに呼び掛けた。雪の中では無音の世界が広がり、自然の神秘に驚きの声が上がっていた。

冬期間は閉ざされている大町ダムに到着すると、緑地公園で各自が持参した缶ストーブを使って調理を楽しんだ。缶ストーブは落ち葉や木の枝など身近にあるものを燃料として火をおこす道具。食材は各自が持参し、湯を沸かしてカップ麺を食べたり、フライパンでソーセージを焼いた

り、焼きマッシュマロを味わったりと、熱源を自由に活用して、白銀の中の野外調理を楽しんだ。上原館長は「何げない日常の中で見落としてしまうようなところを、何か一つでも発見してもらえると嬉しいな」と話していた。



かんじきの使い方の指導も



雪原の景色に感動しながら歩いた



缶ストーブ料理のおいしさに感動



小太郎つり橋から景観を楽しんだ



雪の感触を確かめながら雪中ハイイク

## 大町エネ博 発明クラブが散策

# 冬の山林楽しむ「雪中ハイイク」



雪の無音の世界を体感

大町市の大町エネ博 ながら、大町ダムまで  
ギ博物館(上原憲宏 散策。ダムでは自作の  
館長)で活動する、大 携帯缶ストーブを使っ  
町少年少女発明クラブ て昼食を作り、雪の中  
は1日、恒例の「雪中 で腰を取り料理が食べ  
ハイイク」を実施した。 られるありがたみを体  
博物館から高瀬川沿いの 感。雪の降り積もった  
の雪深い山林を、冬な 大自然の中で過ごす非  
らではの景観を楽しみ 日常体験を満喫した。



雪中ハイイクを満喫した参加者